

大岩自動車 株式会社

革新的サービス

小規模型

最新の高機能塗装設備導入により“見せる”工場に 新たな顧客獲得に取り組む

事業内容 自動車のボディ復元修理(钣金塗装)が専門 カスタム案件にも対応

同社は、父親が創業した大岩自動車钣金塗装の事業を、2010年(平成22年)に代表取締役である大岩誠治氏が引き継ぎ、事業を徐々に拡大してきた。

事故車の傷・へこみの修理を主業としており、事故で原型がわからなくなった車体に钣金塗装を行うことによって復元している。そのほか、顧客の要望に応じて、国産車および輸入車の注文販売も手掛けており、車検にも対応している。顧客は、橋本市内から大阪府南部の一般個人や業者筋(ディーラー、整備業者、中古車販売店)が中心となってい

る。また、売上はそれほど多くはないものの、レンタカー事業も行っており、カーライフ全般のサポートを行っている。

近年の取り組みとしては、ラバーティップと呼ばれる自動車を傷から守るための塗って剥がせる塗料による自動車のコーティングを始めた。80色を超える豊富なカラーラインナップで自動車のカスタム案件も請け負っている。

補助事業 技術水準の引き上げを図り、 顧客に安心感を与える工場づくり

輸入車および旧車にこだわりを持つお客様に同社を利用してもらうには、钣金塗装技術をさらに高度化させ、技術面での信頼を獲得していく必要がある。具体的には、高い品質水準を求めるお客様の期待を超えなければならず、そのためには従業員の技術水準の高さだけでは十分ではなく、最新設備を導入し、細かな要望にも応えていかなければならない。

従前の設備では、塗装時に微細なゴミが付着し、塗装に時間がかかっていた。広いブースで塗装時の温度管理を厳格に行い、作業の効率化と品質向上を図りたいと考えていた。また、新設備の導入をきっかけにさらなる技術水準の引き上げが期待できた。

そこで、今回の補助事業では、最新の高機能塗装設備を

導入することにより、最新設備完備の技術水準が高い工場、ひいては顧客に安心感を与えられる工場づくりを目指した。



▲お客様への安心感とスタッフの健康のために。

大岩自動車 株式会社

代表取締役 大岩 誠治
〒648-0002 橋本市隅田町平野165
TEL: 073-637-2356 FAX: 073-637-2357
URL: <http://www.facebook.com/arg0018>

(業種)自動車钣金塗装業
(設立)1972年
(資本金)100千円
(従業員)6人

成果

作業効率・安全性の向上 新たな設備投資がPR材料に

最新の高機能塗料設備の導入に伴い、同設備に関わる新設備(危険物の貯蔵庫など)の導入も進めたため、金銭的な負担が重かった。ただ、それら設備一式を導入したことにより、乾燥温度管理が厳格にできるようになり、塗装ブース内の密閉性が上がり、塗装作業時間の短縮、品質向上につながった。

作業面では、以前より作業スペースが確保できるようになり、作業ストレスを軽減できている。古い機械設備から新しい機械設備へのシフトにより、従業員のモチベーションもアップしている。また、従業員の健康被害、工場から出る悪臭を軽減することもできており、環境に配慮した工場に生まれ変わった。

販売面については、一般個人のお客様に対しては作業の効率化による納期短縮、品質向上が実現できた。また、保険会社の指定工場の設備条件に高機能ブースが含まれ

ているため、新たな顧客獲得に今回の設備投資が直接的な影響があった。設備面が充実していることは、業者筋(ディーラー、整備業者、中古車販売店)からの信頼性の向上にもつながっており、自社をPRするための材料も整ってきている。



▲作業の効率化、品質向上に頼もしい設備。

今後の展開

HP・SNSを通して技術力をアピール 自動車のカスタマイズに注力

事務所、お客様待合室を居心地の良いスペースに改装し、最新設備が完備された作業場の美化・見える化を進めている。今後は、ホームページやSNSを通じて自社の技術力をアピールしていきたいと考えている。

具体的なターゲット層は、自動車にこだわりを持っている一般個人のお客様であり、時間をかけて徐々に増やしていく予定である。作業の効率化も進んできているので、昨年(2016年)から新規事業展開しているラバーティップを促進していくほか、自動車の付加価値を高めるカスタマイズ

案件の受注増を目指していく。

中長期的には、人材育成を進めつつ、社内全体で技術力の向上を図り、競争に勝ち残っていける強い会社づくりを進めていく。今後さらに普及が進むと予想される電気自動車のカスタマイズを手掛けていく予定であり、観光客向けのレンタル事業への展開も視野に入れている。

新車・旧車、輸入車・国産車に関わらず、同社では“自動車の楽しみ方”を提案し、新たな価値を創っていく。



▲必要とされる会社に!また来たいと思われる会社に!



▲みんなの笑顔のために。